



水の仲間たち

水に関わる方々を
紹介します

グラウンドワーク川口

川口市北部に広がる見沼田んぼ。この地域の自然環境の保全に力を注いでいる「グラウンドワーク川口」をご紹介します。

今回は事務局の岩崎さんにお話を伺いました。

―設立のきっかけについて教えてください

岩崎 ホタルの保護を目的としてスタートし、現在は「見沼自然の家」を拠点とした自然環境の保全を目的に活動しています。

―活動内容について教えてください

岩崎 稲作や有機栽培による野菜づくり、ヨシ原など草木の手入れが主な活動です。また、絶滅が危惧される生物の保護を行い、昆虫は850種類ほど、植物は200種類以上がこの地域に生息しています。

―どのようなイベントを開催していますか？

岩崎 4月はヨモギ餅と野草を食べる会で新緑とふれあいます。夏はホタル

ルの調査活動と夜の観察会、12月は収穫祭で収穫したモチ米をお餅にして食べます。参加したみなさまから、収穫した作物はどれもおいしいと好評です。

他にも地域の清掃活動、学校からの依頼で自然の素材を使ったものづくりの指導や自然教室も行っています。

―自然環境にとって水にはどのような役割があると感じていますか？

岩崎 ホタルはきれいな水がないと生きていけません。稲づくりはもちろんです。アカガエルが卵を産むためにも水は必要であり、この環境を守るためには一年を通じて安定した水量が必要です。

以前は不法投棄が多く、工業用の資機材が捨てられていることもありま

した。清掃活動によって減少しつつありますが、自然を汚染しているのは人なのだということを実感しています。

―市民のみなさまに伝えたいことはありますか？

岩崎 スタッフもイベント参加者もみな自主的に活動しています。

ぜひ一度気軽にイベントに参加いただき、この環境の素晴らしさを知ってください。

―ありがとうございました

取材中にも昔ながらの生活や、生物の生態など新たな発見がたくさんありました。

自然が好きだという方は、ぜひイベントに参加してみてください！

グラウンドワーク川口

連絡先

048 (2007) 3433

ホームページ

<http://groundwork-kawaguchi.jp/>



田植の様子。みんな泥んこになって楽しんでいます！



幼稚園の野外活動の様子。子どもたちはザリガニや虫とりに夢中！